

令和元年度文京区アカデミー推進協議会第2回分科会(生涯学習・文化芸術)概要記録

日 時	令和元年11月25日(月) 18:30～20:30
会 場	文京シビックセンター3階 ホール会議室1
出 席 委 員	座長 田中 雅文 (日本女子大学教授) 増田 純 片貝 憲二 牧野 恒良 高橋 由貴子
欠 席 委 員	高澤 芳郎 今井 瑛里子 山内 豊
事 務 局	細矢アカデミー推進課長 内藤真砂中央図書館長 上野アカデミー文京所長(シビックホール館長) 諸アカデミー推進課アカデミー推進係長 鈴木アカデミー推進課文化事業係長 川口アカデミー推進課文化資源担当室長(文京ふるさと歴史館長)
資 料	資料1 令和元年度 文化芸術分野事業調査結果A 資料2 令和元年度 文化芸術事業調査結果B 資料3 平成30年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について 資料4 区民向け調査における分野別目標の重要度と満足度 資料5 平成30年度の事業に対する評価 参考資料 平成30年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について(文化芸術分野抜粋)
(議事)	
1 開 会	
2 議 題	<u>(1) 平成30年度の事業実施状況の点検と評価について (文化芸術分野)</u> <u>①分野別目標1 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり</u> 資料1と資料3に基づき、分野別目標1 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくりにおける点検と評価について説明。 ◎能を親子で体験できる機会をつくり毎年リピーターも増えてきていることはよいことだろう。一方で、参加者が多く、流れ作業のようになってしまうことがある。一時的な関心喚起も重要だが、関心を継続し、深掘りしていく機会をつくっていくことも今後は重要になるだろう。 ◎区の事業はテーマが考えられていてよいと思う。勢いのある若手が前に出てくる機会をもっと増やしていけると、さらによくなるのではないかと。 ◎子どもや次の世代への取組に力を入れて、成果が出ていることはよいことである。 ◆子どもについては、小学校高学年になると参加者が激減するという課題がある。これは区の取組全般にいえることである。 ◎意義のある取組であるという認識をもって継続していけるとよい。 ◎公益財団法人文京アカデミーの情報紙「スクエア」は障害者対応をしていると聞いた。どのように周知しているのか。 ◆区報と同様にデイジー版を用意している。障害者団体等を通して希望者を募り配
◎委員意見	
◆事務局説明	

布している。

- ◎区報とスクエアを合わせて配布できないのか。
- ◎できるとよいと思うが実現できていない。ホームページ等を活用し、効果的な情報発信の方法を引き続き検討していく。

②分野別目標2 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

資料1と資料3に基づき、分野別目標2 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援における点検と評価について説明。

- ◎かるたは人気が出てきており、若者や外国人にも影響があつてよいと思う。
- ◆かるたを題材にしてヒットし、映画化もされた漫画「ちはやふる」の出版元の講談社が区内にあることから、連携していけるとよいと考えている。
- ◎アートウォール・シビックは評価が芳しくないようだが、内容の質が向上しているように感じていた。
- ◆これまで出展の声掛けをしていた団体のメンバーの高齢化に伴い作品数が減少してきていた。新たに障害者支援施設リアン文京や東京都立工芸高等学校に声をかけ、新規出展があつた。引き続き、新規出展の希望を取っていきたい。一方で展示スペースの物理的な制約もあり、これ以上取組をどのように工夫していくかが整理できていない。
- ◎充実できているという点ではプラスの評価でもよいかもしれない。

③分野別目標3 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

資料1と資料3に基づき、分野別目標3 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくりにおける点検と評価について説明。

- ◎個人的な感想になるが、文京ふるさと歴史館の特別展は毎回とてもよいと思うが、ボリュームが少し多いと感じる。ゆっくり見る展示としてもよいかもしれない。常設展については模様替えもできるとよい。年報が配布されていたことは関心を掘り下げるよい機会になった。
- ◆常設展については、建物の構成上大きな変更ができない。特別展や収蔵品展は多くの方に好評いただいている。一方で「ボリュームが少ない」という意見も出ている。どなたも楽しんでいただける工夫をしていきたい。年報は基本的には関係者向けの資料となっているが、残部が出た際に一般配布している。より多くの方に施設のことを知ってほしいと考えている。
- ◎文京ふるさと歴史館に学生ほどの程度来るのか。
- ◆小学校は学校単位の見学、中学校はグループ学習での来館が多い。大学生は学芸員実習で来る。
- ◎施設の入口がもっと明るくなるとよい。

	<p>◆要望とともに資料保存の観点、施設の構造をふまえて検討していきたい。</p> <p>◎3点ある。1点目、分野別目標3の文化を守り伝えていくことは生涯学習とも関連すると考えている。学校と連携していくという視点はあるか。2点目、参考資料の課題と今後の対応・方向の分野別目標3②について、観光分野と連携していくという視点はあるか。博物館を観光資源として活用する流れもある。分野をまたぐ視点が今後求められてくるかもしれない。3点目、分野別目標3(3)において、新たな文化を創造していくという考えはあるか。</p> <p>◆1点目について、親子教室の開催にあたって校長会への相談や学校での全児童へのチラシ配布を行っている。直近では能を学校の授業の中で伝えることができないう調整している。2点目について、漫画「ちはやふる」のイベント等が若い世代に浸透していることもあり、観光分野との連携は今後一層充実していく必要があると考えている。3点目について、漫画「ちはやふる」が注目されたこともあり平成29年から「かるたの街文京」を発信してきている。文京区は競技かるた発祥の地であることから、今後さらに力をいれて取り組んでいく。</p> <p>◆文京アカデミー構想の中でも分野間の連携は考えられている。アカデミーの分野に新たに関心をもつ人を増やしていくために、歴史や文化を観光の目玉にしていくことはあるだろう。</p> <p>◎計画書の中で分野別目標をまたがる取組は再掲としてもよいだろう。</p> <p>④横断的施策</p> <p>資料3に基づき、横断的施策における点検と評価について説明。</p> <p>◎文学は区の伝統や象徴的な文化だと感じている。文学にまつわる観光資源を充実し「文学散歩」として分野横断的に区のプロモーションをしてはどうか。</p> <p>◎ルート選定、街中のサイン整備、学習コンテンツの充実、移動による健康増進など、アカデミー推進計画の分野を横断する具体的なアイデアである。</p> <p>◎そこにさらに「食」がはいるとおもしろい。</p> <p>◆ぶんきょうウォーキングガイドブック&コースマップが近いイメージか。</p> <p>◎要素を詰め込みすぎると分厚い冊子になってしまう。どのような視点で情報を集約するかが重要だろう。</p> <p>◎横断的施策1にも関連する意見である。</p> <p>◆ITを活用し、より多くの区民が関心をもつきっかけとなる効果的な情報発信の方法を考えていきたい。</p> <p>(2)その他 特になし</p>
3 閉 会	<p>今回は1月20日(月)となっている。</p>